

週刊住宅

2018年(平成30年) 3月19日号
NO. 2805 (毎週月曜日発行)

CFネッツ流 新・大家実践塾

1年半前くらいから聞こえてきたアパートローンへの融資締め付け。税制改正で相続税の課税対象が広がったことによりアパート経営に乗り出す人が増え供給過剰と言われている。人口減少による地方物件の空室リスク上昇もあって金融庁が監視を強化しているのは皆さんもご存知の通り。当初は地方銀行が中心で福岡の当社加盟店などから

9 シェアハウス・サブリース問題

融資が随分厳しくなったという話は聞いている。先日、ある投資家の融資内容を聞いた。先日のフルローンな融資に内容だった。融資に相談した時のこと、去年の秋ごろまでは、その風を本格的に感じるようになったが、今年に入りいざに行っている不動産業者などから最近の融資事情に聞いて相談を受けることも返ってきた。

融資が随分厳しくなったという話は聞いている。先日、ある投資家の融資内容を聞いた。先日のフルローンな融資に内容だった。融資に相談した時のこと、去年の秋ごろまでは、その風を本格的に感じるようになったが、今年に入りいざに行っている不動産業者などから最近の融資事情に聞いて相談を受けることも返ってきた。

アパートローン締め付け開始

融資姿勢はさらに厳しく?

多くなった。日銀によると、2017年7～9月期のアパートローンの新規融資額は20・5%減の8591億円。同年1～3月期は0・9%減、翌4～6月期は14・4%減でマイナス幅が拡大した。断りと言わんばかりの散々

それは物件価格に対して自己資金3割投入、さらに所有している自宅とアパート2棟を共同担保に入れてほしいとのこと。シェアハウス・サブリース問題。1000億もの被害から苦戦を強いられること

ますます金融機関の融資姿勢から目が離せない。

シェエフネッツ 鎌倉本店 山内真也



【訂正】

3月12日号「CFネッツ流 新・大家実践塾」は、執筆者である河崎洋樹氏の顔写真ではなく、誤って今週執筆者の山内真也氏を掲載しています。河崎氏の写真はありませぬ。訂正とともに関係者にお詫びします。